

## 折に触れ 四字熟語

### NO. 10 『順手牽羊』 じゅんしゅ けんよう

< 意味 > 勢いに乗じて、ついでに他人のものを盗む。

< 出典 > 「兵法三十六計」<第十二計>

『順手牽羊』

解『微<sup>び</sup>隙<sup>げき</sup>在所必乗。微<sup>び</sup>利<sup>り</sup>在所必得。少陰、少陽。』

読み下し：手に順<sup>したが</sup>いて羊を牽<sup>ひ</sup>く。

通 釈：たまたま手に触れた縄を引いたら羊が付いてきたと羊泥棒が強弁した、という故事に基づく語。敵の隙を見つけたら、知らぬふりをして手当たり次第にかすめ取る。

読み下し：（解）微隙<sup>すこ</sup>在るは必ず乗ずる所。微利<sup>すこ</sup>在るは必ず得る所。少しく陰。少しく陽。

通 釈：かすかな隙があれば、必ずそれに乗ずる。わずかでも利益があれば、必ず奪い取る。小さな失態につけ込んで、小さな勝利を得る。

一 言：「China 2049」シリーズその3

「China 2049」の8章に引用されている四字熟語です。

オランダ・ハーグの常設仲裁裁判所が、中国が唱える南シナ海での権利を認めないという判決を下しました。それに対する中国の反応のニュースを見ながら、この四字熟語を選ぶことにしました。

参考文献：湯浅邦弘著「孫子・三十六計」 守屋洋著「兵法三十六計」 「ウィキペディア」